



「JSRグループ CSRレポート2019」

第三者検証 意見書

2019年7月11日

JSR株式会社

代表取締役 CEO エリック ジョンソン 殿

一般社団法人日本化学工業協会
レスポンシブル・ケア検証センター長

永松 茂樹



■検証の目的

本検証は、JSR株式会社が作成した「JSRグループ CSRレポート2019 (Web版)」(以後、報告書と略す)を対象として、下記の事項についてレスポンシブル・ケア検証センターが化学業界の専門家の意見を表明することを目的としています。

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
- 2) 数値以外の記載情報の正確性について
- 3) レスポンシブル・ケア活動(以後、RC活動と略す)内容及びCSR活動内容について
- 4) 報告書の特徴について

■検証の手順

- ・ 本社において、各サイト(事業所、工場)から報告される数値の集計方法の合理性、及び数値以外の記載情報の正確性について調査を行いました。調査は、報告書の内容について各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、並びに各業務責任者及び報告書作成責任者より資料の提示・説明を受けることにより行いました。
- ・ 鹿島工場において、本社に報告する数値の算出方法の合理性、数値の正確性、及び記載情報の正確性の調査を行いました。鹿島工場の調査は、各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、資料の提示・説明を受けること、証拠物件と照合すること並びに現場を確認することにより行いました。
- ・ 数値及び記載情報の調査についてはサンプリング手法を適用しました。

■意見

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
 - ・ 本社及び鹿島工場では自動集計システム(エクセル)を使用しダブルチェックなども実施。国内グループ企業ではデータの集計・転記ミス無くすため、データ入力フォームを統一するなど、数値の正確性確保に工夫しています。
 - ・ 環境情報管理システムの導入による集計作業の効率化をグループ企業含めて計画中であり、さらに本年10月以降人材開発部のほとんどの申請書についても電子化する予定とのこと、これらの取組みの成果を期待します。
- 2) 記載情報の正確性について
 - ・ 報告書に記載された情報は、正確であることを確認しました。原案段階では表現の適切性あるいは文章の分かり易さに関し若干の指摘をしましたが、現報告書では修正されており現在修正すべき重要な事項は認められません。
- 3) RC活動及びCSR活動の内容について
 - ・ 新経営体制発足の下、代表取締役社長兼COOメッセージの中で経営方針を具現化するためCSR分野の重要課題を設定し、JSRグループの中期CSR計画の課題ごとにSDGsとの関連を記載していることを評価します。
 - ・ 毎年社長をトップとする本社環境安全監査を実施し、工場部門が抱える課題の共有と議論を行うスタイルに変更したり、またトップと従業員との対話会を設けたり、「想いの共有」により従業員の環境・安全活動の活性化を図っていることを評価します。
 - ・ 更に、毎年担当役員と担当部門長が各事業所を巡回するCSR&RCキャラバンを実施し、CSRの推進やRC活動の成果・課題等を従業員と共有し直接意見交換していることを評価します。
 - ・ 鹿島工場では地域特有の海風による配管の外部腐食・漏洩を防止するための対策プロジェクトを精力的に推進し成果が出つつあり、また災害の再発防止のため解析を進め、根本原因を特定して対応していることを評価します。
- 4) 報告書の特徴
 - ・ ステークホルダーとの対話の項で「JSRグループのマテリアリティとSDGs」のテーマで、2020年度から始まる次期中期経営計画策定に向けて、マテリアリティの特定の進め方や妥当性について有識者の方々と意見交換していることを公表・掲載していることを評価します。

以上